

市民インタビューによるオーラルヒストリー収集業務委託 プロポーザル選考要領

1 目的

2021年1月に市制施行100周年を迎えるにあたり、本市オリジナル（ローカルでオンリーワ
ン）のストーリーを対象に市民インタビューを実施し、オーラルヒストリーとして収集、保存、編集、公開す
る。

本市の隠れたエピソードや失われつつある記憶を発掘し、記録、発信することにより、自分の住むまち
に愛着を持ち、身近に感じもっと誇りをもって次の世代へつなげることを目的とするとともに、千葉開府9
00年を迎える本市の史料として整備し、図書館としての「知の拠点」づくりを行い、地域行政資料の
充実化を図るとともに、本市のアイデンティティを確立する。

2 選考委員会

下表のメンバーを選考委員とする。

No		メンバー
1	委員長	中央図書館長
2	委員	中央図書館 管理課長
3	〃	中央図書館 情報資料課長
4	〃	市民局 広報広聴課長
5	〃	生涯学習部 郷土博物館長

3 選考基準

(1) 業務実績

本業務と類似する業務の経験、実績があり、本業務を円滑に遂行することが認められか。

(2) 企画内容

①業務実施体制について

本業務を確実に処理するための十分な基盤と体制が確保されているか。

②業務工程について

実現性があり、高い効果を見込むスケジュールとなっているか。また、市と事業者の役割分担が明確かつ具体的であるか。

③企画提案について

本業務の目的及び内容等の理解度が高く、提案が具体的かつ明確になされているか。また、事業目的に沿う効果が期待できるか。多くの市民にとって興味や関心のある企画となっており、市の魅力等が再確認できるふさわしい内容であるか。

④独自提案について

本業務を実施する上で、仕様書にはない事業効果を高める提案がなされているか。また、それが実現可能であるか。

(3) 費用

上記項目について5段階評価を行う。ただし、(3)費用の採点は、提案者中最低の提示金額を10点とし、次の式によりその他の提案者の点数を決定する。ただし、提示された金額が見積限度額(消費税及び地方消費税を含む。)を超えた場合は、その他の評価項目採点に関わらず失格とする。

$$\text{費用の点数} = X/A * 10 \quad A = \text{採点対象の提案者の提示金額} \quad X = \text{提案者中最低の提示金額}$$

4 選考手順

- (1) 企画提案書の配布 令和3年2月8日(月)を予定
 - (2) 選考委員は、別紙「企画提案評価表」に点数を記入する。費用の採点は事務局で行い、選考委員に提示する。
 - (3) 選考委員ごとに提案者を評価し、その平均点(小数点以下第2位を四捨五入)をもって当該提案者の評価点とする。
 - (4) 評価点が最も高い提案者を候補者、次に高い者を次点者とする。ただし、評価点が50点に満たない場合は、選考委員会で協議の上決定する。
- なお、評価点が最も高い提案者が複数いる場合は、選考委員の多数決により決定し、同数の場合は、選考委員長が決定する。

また、提案者が1者のみであっても、上記のとおり選考する。